

広島市植物公園 見どころ案内



2026 年 9 月 20 日
通巻第 713 号

展示会のご案内

①展示資料館 (9/12～10/7)

ボタニカルアート展

②展示温室 (9/5～10/4)

秋の薬用植物とハーブ展

マツムラソウ (イワタバコ科)

日本では石垣島と西表島のみに生育する多年生草本です。環境省レッドリストでは絶滅危惧 IA 類に選定されています。林の中の湿った岩場で生育し、黄色い筒状の花を下向きに咲かせます。

オミナエシ

(オミナエシ科)

「秋の七草」のひとつです。敗醤(はいしょう)とも呼ばれ、乾燥させると僅かですが醤油の腐ったような臭いがします。

ユーロフィア

ボウリアウォンゴ

(ラン科)

アフリカ大陸に自生する超大型の地生ランです。国内での栽培例が非常に少なく、展示している施設も少ない貴重なランです。

カボチャ

‘アトランティック

ジャイアント’(ウリ科)

巨大なカボチャが成長中！一人では持ち上げられないほど大きくなっています。色もオレンジ色が濃くなってきました！

タイタンピカス

ハブソウ (マメ科)

ハブ茶の材料として有名ですが、エビスグサの種子で代用されることも多くあります。

★大温室で見頃の花・実

オウコチョウ、アンスリウム、スパティフィラム、テイキンザクラ、ブーゲンビリア、洋ラン各種、カカオ、トーチジンジャー、ヘリコニア、シクンシ、[タコノキ類、カカオ、コーヒーノキ、ソーセイジノキ、ゴレンシ、パラミツ、ホワイサボテ、バナナ各種、パパイヤ、ポンドアップル(以上は実)、イクソラ、ハイビスカス(ブッソウゲ)、イエアリシャン、イランイラン、パボニア、ロテカ、ブルーエンジェル、ゴールデンチェーンツリー、アリアケカズラ類